



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 製品の利用対象
- 3. IM-BloomMaker for Accel Platform 2025 Autumn(Lilac) からの変更点
 - 3.1. 仕様変更
 - 3.1.1. imds で複数のエレメントの文字サイズが想定と異なる大ききで表示される不具合を修正しました。
 - 3.2. 追加された主な機能
 - 3.3. 追加・変更されたテーブル定義
 - 3.4. システム要件
 - 3.5. 検証済み環境
 - 3.6. サードパーティライブラリ
 - 3.7. 制限事項
- 4. アップデート時の注意点
 - 4.1. アップデート時に必要な対応
 - 4.1.1. 2019 Summer(Waltz) からアップデート
 - 4.1.2. 2020 Summer(Zephyrine) からアップデート
 - 4.1.3. 2025 Autumn(Lilac) からアップデート
 - 4.2. 仕様変更
 - 4.2.1. 2025 Autumn(Lilac) からの仕様変更
 - 4.2.2. 2025 Spring(Kamille) からの仕様変更
 - 4.2.3. 2024 Autumn(Jasmine) からの仕様変更
 - 4.2.4. 2024 Spring(Iris) からの仕様変更
 - 4.2.5. 2023 Autumn(Hollyhock) からの仕様変更
 - 4.2.6. 2023 Spring(Gerbera) からの仕様変更
 - 4.2.7. 2022 Winter(Freesia) からの仕様変更
 - 4.2.8. 2022 Spring(Eustoma) からの仕様変更
- 5. 機能一覧
- 6. システム要件
 - 6.1. サーバ要件
 - 6.1.1. intra-mart Accel Platform
 - 6.2. クライアント要件
 - 6.3. ライセンス要件
- 7. 検証済み環境
 - 7.1. サーバ環境
 - 7.2. クライアント環境
- 8. サードパーティ ライセンス一覧
- 9. 制限事項
 - 9.1. コンテンツ
 - 9.2. デザイン および 実行画面
 - 9.2.1. 変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。
 - 9.2.2. デザイン画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。
 - 9.2.3. 動画埋め込みエレメントで autoplay を true に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。
 - 9.2.4. マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。
 - 9.2.5. 各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「match-parent」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。
 - 9.2.6. CSSエディタの編集内容によりデザイナーの見た目が壊れる可能性があります。
 - 9.2.7. 整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。
 - 9.2.8. マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。
 - 9.2.9. 互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。
 - 9.2.10. カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
 - 9.2.11. リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
 - 9.2.12. IM-Repository定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約があります。
 - 9.2.13. ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。
 - 9.2.14. 利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。
 - 9.2.15. コンテンツ種別「Burma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。
 - 9.2.16. カスタムスクリプト内で \$im.event.mouse を利用して取得できる値について、制限があります。
 - 9.2.17. スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。
 - 9.2.18. エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。
 - 9.2.19. 利用する端末、ブラウザによって inputmode で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。
 - 9.2.20. バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2026 Spring リリースノート 初版 2026-04-01

- 9.2.21. リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。
- 9.2.22. 「変数〇に一覧データ〇から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。
- 9.2.23. サイドメニューコンテナエレメントのメニューの検索状態はコンテナページを移動してもクリアされません。
- 9.2.24. サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。
- 9.2.25. 排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。
- 9.2.26. デザインでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。
- 9.2.27. ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。
- 9.2.28. 複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。
- 9.2.29. iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。
- 9.2.30. iOS・iPadOS の Safari で、音声または動画を再生・一時停止するアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、一部しか動かない場合があります。
- 9.2.31. WebSocket の接続に失敗した場合、デザイン画面に表示されている排他制御機能が期待通りに動作しません。
- 9.2.32. 辞書項目の JavaScript 変数名が未入力またはハイフン、アンダーバー以外の記号を利用していた場合、エンティティデータの検証が動作しません。
- 9.2.33. iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」が動作しません。
- 9.2.34. iOS・iPadOS で、時刻入力エレメントの「showSeconds プロパティ」が動作しません。
- 9.2.35. iOS・iPadOS で、時刻入力エレメント・日付入力エレメントの「readonly プロパティ」が動作しません。
- 9.2.36. 数値入力エレメント、数値入力（フォーマット）エレメントで、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。
- 9.2.37. モバイル端末で、入力系エレメントの「min プロパティ」「max プロパティ」が動作しません。
- 9.2.38. iOS・iPadOS でダイアログを表示した際、ダイアログ内のどのエレメントにも autofocus があたりません。
- 9.2.39. エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。
- 9.2.40. Tabindex プロパティは、モバイル端末で機能しない場合があります。
- 9.2.41. IM-Repository 定義のエンティティをインポートした変数は2次元以上の配列に対応していません。
- 9.2.42. サイドバーエレメントは Slim Side Menuテーマのサイドバーに存在する機能のすべてを提供していません。
- 9.2.43. エレメント「日付入力」のカレンダー部分は OS のタイムゾーンに従って動作します。
- 9.2.44. リッチテーブルのプロパティ「displayValidationError」を有効にしても、プロパティ「dataSource」に式表現を指定するとバリデーションエラーが表示されません。
- 9.2.45. JavascriptのNumber型で整数として精度が保証されている桁数を超過している場合、正常に動作しない場合があります。
- 9.2.46. キー押下時プロパティで実行されるアクションは、キーの既存の機能を打ち消しません。
- 9.2.47. アシスタント実行エレメントを1コンテンツ定義内に複数配置することはできません。
- 9.2.48. CSSエディタで指定したスタイルが、バージョンアップによって動作しなくなることがあります。
- 9.2.49. 入力系エレメントの value に変数値を指定し、同一エレメントの他プロパティに同一変数を指定した場合、反映されません。
- 9.2.50. プロパティ「addon」を有効にした「フィールド」エレメントを配置した Bulma のコンテンツを imds に変換すると異なる見た目に交換されます。
- 9.2.51. unlockOnLeave を有効にした排他制御エレメントを非表示状態にしてページ遷移すると、ロックが解除されないことがあります。
- 9.2.52. デベロッパーモードで編集したコンテンツ定義をレイアウトモードで表示した場合、一部の編集機能が制限されることがあります。
- 9.2.53. 2次元以上の配列をリクエストパラメータとして送信できません。
- 9.2.54. Accel Platform Mobile では、アクション「URL〇をウィンドウで開く」で別画面を開くことはできません。
- 9.2.55. アクション「エレメント〇にフォーカスを設定する」において、フォーカスインやフォーカスアウトのタイミングで、複数のエレメントが互いに向けてフォーカスを移動させる設定をしている場合、ブラウザが停止することがあります。
- 9.2.56. デフォルトで設定されている3言語（日本語・英語・中国語（簡体字））以外のシステムロケールを追加した環境では、英語のみサポートします。
- 9.2.57. 「表示/非表示」プロパティの指定場所によって、リッチテーブルの selected プロパティの値が上書きされます。
- 9.2.58. アプリケーション画面で横スクロールが発生している場合、Android の Chrome では日付入力（カレンダー）エレメントの日付ピッカーが適切な位置に表示されない場合があります。
- 9.2.59. Safari では暗黙的な Submit を動作させないオプションを利用できません。
- 9.2.60. 変数のキー名を数字のみにした場合、変数ツリーの並びと実際の変数値の並びが一致しないことがあります。
- 9.2.61. レイアウトモードでタブの選択状態を切り替えたとき、選択状態を解除したあとに UNDO/REDO に操作履歴が記録されます。
- 9.3. ルーティング
- 9.4. テンプレート
 - 9.4.1. 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。
- 9.5. エレメントセット
 - 9.5.1. コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを使用した場合、テーマが適用されないことがあります。
 - 9.5.2. エレメントセットを「参照」で利用している場合、エレメントセット側で削除した変数は利用しているコンテンツに反映されません。
- 9.6. インポート・エクスポート
 - 9.6.1. IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資料には前方互換性がありません。
 - 9.6.2. WebSphere Application Server を利用する場合、テナント環境セットアップ後やインポート実行後にサーバを再起動する必要があります。
 - 9.6.3. IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。
- 9.7. デバッグツール
 - 9.7.1. Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションはブレークポイントで一時停止しません。
- 10. 保証規程
 - 10.1. 保証内容及び対象
 - 10.2. 保証の適用除外

- 10.3. 免責
- 10.4. その他の契約との関係
- 11. 著作権および特記事項

変更年月日	変更内容
-------	------

2026-04-01	初版
------------	----

本書の内容

本書ではIM-BloomMaker for Accel Platformのリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用した画面の作成および、作成された画面の利用者

仕様変更

imds で複数のエレメントの文字サイズが想定と異なる大ききで表示される不具合を修正しました。

コンテンツ種別 imds で複数のエレメントの文字サイズが想定よりも小さく表示されていました。

- 対象エレメント
 - パンくずリストコンテナ
 - ステッパーボタン
 - ドロップダウンリンク
 - ナビゲーションバーのドロップダウンリンク

本修正により、自動的に対象エレメントの文字サイズが適切なサイズで表示されます。

そのため、従来の文字サイズを想定してレイアウトを行っていた場合、エレメントが画面外にはみ出して表示される可能性があります。

該当エレメントを使用しており、px 等で厳密に要素の配置を決定しているコンテンツ定義について、画面崩れがないか適宜確認してください。

なお、回避策として CSS エディタで文字サイズを指定していた場合は、本修正後に二重適用される可能性があります。

その場合は、回避策として追加した CSS 指定を削除してください。

<https://issue.intra-mart.jp/issues/39898>

追加された主な機能

- 機能追加
 - 必須チェックを行うかどうかを変数値・式表現で指定できる、条件付き必須機能を追加しました。
 - Bulma/imds にタブ切り替え機能が付属した「タブセット」エレメントを追加しました。
 - input 系エレメントに autocomplete 属性を追加しました。
 - リッチテーブルのセルの横幅の最大値、最小値を指定できるようにしました。
- 機能強化
 - エレメントを複数選択して、一括でプロパティ指定できるように改善しました。
 - imds の入力系エレメントとインプットグループをフィールドコンテンツ配下以外にも配置できるように変更しました。
 - 設計書出力の変数の入力規則について、表現の形式を変更しました。

コラム

アップデートに伴い、お客様側で対応が必要な事項が存在する要件については「2026 Spring (8.0.16) - 顧客側での要対応」にて対象チケットを絞り込んで確認できます。

アップデート時に必要となる作業の流れについては、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「モジュールのアップデート」を参照してください。

関連する作業は、アップデートのバージョンごとに異なります。

今回のバージョンに対応する内容を必ずご確認ください。

- 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「アップデート時に IM-Juggling で必要なメンテナンス作業」
- 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「テナント環境セットアップ後の各種メンテナンス（アップデートによるメンテナンス）」

追加・変更されたテーブル定義

- 追加・変更されたテーブル定義はありません。

システム要件

- intra-mart Accel Platform 2026 Spring(Mimosa) のシステム要件に準じて変更しました。

検証済み環境

- intra-mart Accel Platform 2026 Spring(Mimosa) の検証済み環境に準じて変更しました。

サードパーティライブラリ

- 追加・変更

- air-datepicker を 3.5.3 から 3.6.0 に変更しました。
- @babel/helper-string-parser を 7.25.9 から 7.27.1 に変更しました。
- @babel/helper-validator-identifier を 7.25.9 から 7.27.1 に変更しました。
- @babel/parser を 7.25.9 から 7.28.4 に変更しました。
- @babel/runtime を 7.24.4 から 7.27.0 に変更しました。
- @babel/types を 7.25.9 から 7.28.4 に変更しました。
- @types/trusted-types 2.0.7 を追加しました。
- available-typed-arrays 1.0.7 を追加しました。
- brace-expansion を 1.1.11 から 1.1.12 に変更しました。
- call-bind を 1.0.7 から 1.0.8 に変更しました。
- call-bind-apply-helpers 1.0.2 を追加しました。
- call-bound 1.0.4 を追加しました。
- cipher-base を 1.0.4 から 1.0.7 に変更しました。
- dompurify を 3.1.7 から 3.1.7, 3.2.7 に変更しました。
- dunder-proto 1.0.1 を追加しました。
- elliptic を 6.6.0 から 6.6.1 に変更しました。
- es-define-property を 1.0.0 から 1.0.1 に変更しました。
- es-object-atoms 1.1.1 を追加しました。
- es-set-tostringtag 2.1.0 を追加しました。
- for-each 0.3.5 を追加しました。
- form-data を 4.0.1 から 4.0.4 に変更しました。
- get-intrinsic を 1.2.4 から 1.3.0 に変更しました。
- get-proto 1.0.1 を追加しました。
- gopd を 1.0.1 から 1.2.0 に変更しました。
- graceful-fs を 4.2.10 から 4.2.11 に変更しました。
- has-symbols を 1.0.3 から 1.1.0 に変更しました。
- has-tostringtag 1.0.2 を追加しました。
- is-callable 1.2.7 を追加しました。
- is-typed-array 1.1.15 を追加しました。
- isarray を 1.0.0 から 1.0.0, 2.0.5 に変更しました。
- marked を 13.0.1 から 14.0.0 に変更しました。
- math-intrinsics 1.1.0 を追加しました。
- monaco-editor を 0.50.0 から 0.54.0 に変更しました。
- nanoid を 3.3.7 から 3.3.11 に変更しました。
- object-inspect を 1.13.1 から 1.13.4 に変更しました。
- pbkdf2 を 3.1.2 から 3.1.3 に変更しました。
- possible-typed-array-names 1.1.0 を追加しました。
- qs を 6.11.0 から 6.14.0 に変更しました。
- sha.js を 2.4.11 から 2.4.12 に変更しました。
- side-channel を 1.0.6 から 1.1.0 に変更しました。
- side-channel-list 1.0.0 を追加しました。
- side-channel-map 1.0.1 を追加しました。
- side-channel-weakmap 1.0.2 を追加しました。
- to-buffer 1.2.2 を追加しました。
- typed-array-buffer 1.0.3 を追加しました。
- vuex を 3.5.1, 3.6.2 から 3.6.2 に変更しました。
- which-typed-array 1.1.19 を追加しました。
- 除外
 - asap を除外しました。
 - has-proto を除外しました。
 - promise を除外しました。

制限事項

- 追加された制限事項
 - 「変数のキー名を数字のみにした場合、変数ツリーの並びと実際の変数値の並びが一致しないことがあります。」

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2026 Spring リリースノート 初版 2026-04-01

- 「レイアウトモードでタブの選択状態を切り替えたとき、選択状態を解除したあとに UNDO/REDO に操作履歴が記録されます。」
- 変更された制限事項
 - 「エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。」
- 削除された制限事項
 - 削除された制限事項はありません。

アップデート時に必要な対応

2019 Summer(Waltz) からアップデート

注意

詳細は [アップデート時に IM-Juggling で必要なメンテナンス作業](#) を参照してください。

2020 Summer(Zephyrine) からアップデート

2020 Summer(Zephyrine) 以前が含まれていた環境を 2020 Winter(Azalea) 以降にアップデートする場合、テナント環境セットアップ後に intra-mart Accel Platform を再起動してください。

注意

詳細は、[テナント環境セットアップ後の各種メンテナンス（アップデートによるメンテナンス）](#) を参照してください。

なお、2020 Winter(Azalea) の war ファイルをデプロイした後、テナント環境セットアップ前の場合、intra-mart Accel Platform 起動時に以下のエラーが出力されます。

```
[ERROR] j.c.i.s.s.e.i.AbstractSystemExecutorService - [E.IWP.SERVICE.00015] バックエンド処理の実行に失敗しました。
```

PostgreSQL の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: org.postgresql.util.PSQLException: ERROR: 列route.content_versionは存在しません
```

Oracle Database の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: java.sql.SQLException: ORA-00904: "ROUTE"."CONTENT_VERSION": 無効な識別子です。
```

テナント環境セットアップ後に再起動することで、当該エラーは出力されなくなり、正常に動作します。

2025 Autumn(Lilac) からアップデート

2025 Autumn(Lilac) 以前から 2026 Spring(Mimosa) 以降へアップデートする場合、既存の設計書テンプレートを利用する際には対応が必要です。

注意

詳細は、[テナント環境セットアップ後の各種メンテナンス（アップデートによるメンテナンス）](#) を参照してください。

仕様変更

2025 Autumn(Lilac) からの仕様変更

- 進捗バーの value プロパティに 0 を初期値として設定した場合、0% ではなく処理中として表示される不具合を修正しました。

2025 Spring(Kamille) からの仕様変更

- リッチテーブルの日時の動作仕様を、初版がサマータイム対応版が切り替えられるようにします。
- コンテンツ種別「imds」の複数選択エレメントのデザインを変更します。
- 「変数○に○を代入する」「親画面の変数○に○を代入する」アクションアイテムにおいて、代入先の変数に定義された型に変換を行った上で代入します。
- データなしの変数を持つエレメントセットを参照モードでコンテンツに配置する、かつ変数が「データなし」の場合の動作を変更します。

2024 Autumn(Jasmine) からの仕様変更

- monaco-editor をバージョンアップします。
- フレックスコンテナの elementCount に対して、上限を撤廃し下限を 0 に変更します。

2024 Spring(Iris) からの仕様変更

- IM-BloomMaker が内包していた FontAwesome を削除します。

2023 Autumn(Hollyhock) からの仕様変更

- 環境の homeUrl の値から、先頭のスラッシュを削除します。

2023 Spring(Gerbera) からの仕様変更

コンテナページ（デザイナー画面のタブ）の切り替えをページ遷移と同じ扱いに変更します。
これにより、エレメント「排他制御」のプロパティ「lockOnJoin」「unlockOnLeave」に影響が及ぶ場合があります。

影響発生事例：

排他制御エレメントを配置したコンテナページ（A）と、別ページ表示用のコンテナページ（B）の両方を含むコンテンツ定義を作成した場合、A から B へコンテナページの表示を切り替える

結果：

2022 Winter(Freesia) まで：

排他制御エレメントの unlockOnLeave プロパティが有効でも、ロックは解除されません

2023 Spring(Gerbera) から：

排他制御エレメントの unlockOnLeave プロパティが有効のとき、ロックが解除されます

2022 Winter(Freesia) からの仕様変更

- 別タブでプレビューを表示し、デザインの変更を動的に反映します。
- ドロップダウンエレメントでhoverable:trueの際、ボタンクリックによるメニュー表示を無効にします。

2022 Spring(Eustoma) からの仕様変更

- 変数を代入する際、マップ型のキーが不足していた場合は null で補完します。
- 変数「環境」の日時について、アカウントコンテキストのタイムゾーンが初期設定されるように変更します。
- アクションアイテム「メッセージ〇をエラーダイアログで表示する」「メッセージ〇をアラートダイアログで表示する」のボタンの色を変更します。

- IM-BloomMaker for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
コンテンツ機能	アプリケーション画面作成に必要な定義情報を管理する機能です。
ルーティング機能	アプリケーション画面のURLや認可など、ユーザがアプリケーション画面にアクセスするために必要な情報を管理する機能です。
テンプレート機能	雛形となるコンテンツを管理する機能です。
エレメントセット機能	雛形となるエレメントを管理する機能です。
デザイナー機能	ブラウザ上でアプリケーション画面のデザイン編集を行う機能です。
インポート・エクスポート機能	IM-BloomMakerに関連する定義情報を他環境に移行するための機能です。 以下の情報をインポート・エクスポートできます。 <ul style="list-style-type: none">■ コンテンツ定義（デザイナーの定義情報を含む）■ ルーティング定義（認可設定はインポート・エクスポートできません。）■ テンプレート定義■ エレメントセット定義



コラム

IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。

詳細は、「[IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。](#)」をご確認ください。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2026 Spring(Mimosa)
- 利用するintra-mart Accel Platformのサーバ要件に準じます。



警告

Microsoft SQL Serverは、性能・パフォーマンスに関する問い合わせが数多く報告されています。十分な検証とチューニングが必要です。



注意

IBM製品（WebSphere Application Server）をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

クライアント要件

- 利用するintra-mart Accel Platformのクライアント要件に準じます。

ライセンス要件

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用するためには、下記のライセンスが必要です。

種別	ライセンス
プラットフォーム	以下のいずれかのエディションのライセンス <ul style="list-style-type: none">intra-mart Accel Platform [Advanced Edition]intra-mart Accel Platform [Advance Edition] ※カスタマーサクセスライセンス向けintra-mart Accel Platform [Professional Edition] ※カスタマーサクセスライセンス向けintra-mart Accel Platform [Low-Code Edition] ※ASEAN地域向け
エクステンション	IM-BloomMaker for Accel Platform



コラム

- IM-BloomMaker for Accel Platform 「エンタープライズ」や「アドバンス」、「プロフェッショナル」、「ローコード」に同梱されており、別売はありません。

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2026 Spring(Mimosa)の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2026 Spring(Mimosa)の検証済みクライアント環境に準じます。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2026 Spring リリースノート 初版 2026-04-01
 サードパーティ ライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Apache POI	5.2.3	ASL	https://poi.apache.org
babel	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/
babel-polyfill	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-polyfill
babel-preset-env	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-preset-env
Squire	1.9.0	MIT	http://fastmail.github.io/Squire/
bulma	0.9.3	MIT	https://bulma.io/
encoding-japanese	1.0.30	MIT	https://github.com/polygonplanet/encoding.js
jsqr	1.4.0	ASL	https://github.com/cozmo/jsQR
path	0.12.7	MIT	https://github.com/jinder/path
marked-gfm-heading-id	4.0.0	MIT	https://github.com/markedjs/marked-gfm-heading-id
air-datepicker	3.6.0	MIT	https://github.com/t1m0n/air-datepicker
@babel/helper-string-parser	7.27.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/@babel/helper-string-parser
@babel/helper-validator-identifier	7.27.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/@babel/helper-validator-identifier
@babel/parser	7.28.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/@babel/parser
@babel/runtime	7.27.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/@babel/runtime
@babel/types	7.28.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/@babel/types
@types/trusted-types	2.0.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/@types/trusted-types
@vue/compiler-sfc	2.7.16	MIT* (see. https://www.npmjs.com/package/@vue/compiler-sfc)	https://www.npmjs.com/package/@vue/compiler-sfc
@webassemblyjs/ast	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/ast
@webassemblyjs/floating-point-hex-parser	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/floating-point-hex-parser
@webassemblyjs/helper-api-error	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-api-error
@webassemblyjs/helper-buffer	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-buffer
@webassemblyjs/helper-code-frame	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-code-frame
@webassemblyjs/helper-fsm	1.8.5	ISC	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-fsm
@webassemblyjs/helper-module-context	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-module-context
@webassemblyjs/helper-wasm-bytecode	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-wasm-bytecode
@webassemblyjs/helper-wasm-section	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/helper-wasm-section
@webassemblyjs/ieee754	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/ieee754
@webassemblyjs/leb128	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/leb128
@webassemblyjs/utf8	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/utf8
@webassemblyjs/wasm-edit	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wasm-edit
@webassemblyjs/wasm-gen	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wasm-gen
@webassemblyjs/wasm-opt	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wasm-opt
@webassemblyjs/wasm-parser	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wasm-parser

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
@webassemblyjs/wast-parser	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wast-parser
@webassemblyjs/wast-printer	1.8.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/@webassemblyjs/wast-printer
@xtuc/ieee754	1.2.0	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/@xtuc/ieee754
@xtuc/long	4.2.2	Apache-2.0	https://www.npmjs.com/package/@xtuc/long
acorn	6.4.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/acorn
acorn-dynamic-import	4.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/acorn-dynamic-import
ajv	6.12.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/ajv
ajv-errors	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/ajv-errors
ajv-keywords	3.5.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/ajv-keywords
animejs	3.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/animejs
anymatch	2.0.0, 3.1.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/anymatch
aproba	1.2.0	ISC	https://www.npmjs.com/package/aproba
arr-diff	4.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/arr-diff
arr-flatten	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/arr-flatten
arr-union	3.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/arr-union
array-unique	0.3.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/array-unique
asn1.js	4.10.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/asn1.js
assert	1.5.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/assert
assign-symbols	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/assign-symbols
async-each	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/async-each
asynckit	0.4.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/asynckit
atob	2.1.2	(MIT OR Apache-2.0)	https://www.npmjs.com/package/atob
available-typed-arrays	1.0.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/available-typed-arrays
axios	0.21.4, 0.27.2, 1.8.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/axios
balanced-match	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/balanced-match
base	0.11.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/base
base64-arraybuffer	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/base64-arraybuffer
base64-js	1.5.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/base64-js
big.js	5.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/big.js
binary-extensions	1.13.1, 2.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/binary-extensions
bluebird	3.7.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/bluebird
bn.js	4.12.0, 5.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/bn.js
brace-expansion	1.1.12	MIT	https://www.npmjs.com/package/brace-expansion
braces	2.3.2, 3.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/braces
brorand	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/brorand
browserify-aes	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/browserify-aes
browserify-cipher	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/browserify-cipher
browserify-des	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/browserify-des
browserify-rsa	4.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/browserify-rsa
browserify-sign	4.2.3	ISC	https://www.npmjs.com/package/browserify-sign
browserify-zlib	0.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/browserify-zlib
buffer	4.9.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/buffer

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
buffer-from	1.1.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/buffer-from
buffer-xor	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/buffer-xor
builtin-status-codes	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/builtin-status-codes
cacache	12.0.4	ISC	https://www.npmjs.com/package/cacache
cache-base	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/cache-base
call-bind	1.0.8	MIT	https://www.npmjs.com/package/call-bind
call-bind-apply-helpers	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/call-bind-apply-helpers
call-bound	1.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/call-bound
chokidar	2.1.8, 3.5.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/chokidar
chownr	1.1.4	ISC	https://www.npmjs.com/package/chownr
chrome-trace-event	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/chrome-trace-event
cipher-base	1.0.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/cipher-base
class-utils	0.3.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/class-utils
collection-visit	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/collection-visit
combined-stream	1.0.8	MIT	https://www.npmjs.com/package/combined-stream
commander	2.20.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/commander
comondir	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/comondir
component-emitter	1.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/component-emitter
concat-map	0.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/concat-map
concat-stream	1.6.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/concat-stream
console-browserify	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/console-browserify
constants-browserify	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/constants-browserify
copy-concurrently	1.0.5	ISC	https://www.npmjs.com/package/copy-concurrently
copy-descriptor	0.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/copy-descriptor
core-util-is	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/core-util-is
create-ecdh	4.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/create-ecdh
create-hash	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/create-hash
create-hmac	1.1.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/create-hmac
crypto-browserify	3.12.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/crypto-browserify
css-line-break	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/css-line-break
csstype	3.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/csstype
cyclist	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/cyclist
date-fns	2.30.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/date-fns
debug	2.6.9	MIT	https://www.npmjs.com/package/debug
decode-uri-component	0.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/decode-uri-component
define-data-property	1.1.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/define-data-property
define-property	0.2.5, 1.0.0, 2.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/define-property
delayed-stream	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/delayed-stream
des.js	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/des.js
dialog-polyfill	0.5.6	BSD*(see. https://www.npmjs.com/package/dialog-polyfill)	https://www.npmjs.com/package/dialog-polyfill
diffie-hellman	5.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/diffie-hellman
domain-browser	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/domain-browser
dompurify	3.1.7, 3.2.7	(MPL-2.0 OR Apache-2.0)	https://www.npmjs.com/package/dompurify
dunder-proto	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/dunder-proto

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
duplexify	3.7.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/duplexify
elliptic	6.6.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/elliptic
emojis-list	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/emojis-list
end-of-stream	1.4.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/end-of-stream
enhanced-resolve	4.5.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/enhanced-resolve
errno	0.1.8	MIT	https://www.npmjs.com/package/errno
es-define-property	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/es-define-property
es-errors	1.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/es-errors
es-object-atoms	1.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/es-object-atoms
es-set-tostringtag	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/es-set-tostringtag
es6-object-assign	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/es6-object-assign
eslint-scope	4.0.3	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/eslint-scope
esrecurse	4.3.0	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/esrecurse
estraverse	4.3.0, 5.3.0	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/estraverse
events	3.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/events
evp_bytestokey	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/evp_bytestokey
expand-brackets	2.1.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/expand-brackets
extend-shallow	2.0.1, 3.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/extend-shallow
extglob	2.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/extglob
fast-deep-equal	3.1.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/fast-deep-equal
fast-json-stable-stringify	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/fast-json-stable-stringify
figgy-pudding	3.5.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/figgy-pudding
fill-range	4.0.0, 7.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/fill-range
find-cache-dir	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/find-cache-dir
find-up	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/find-up
flush-write-stream	1.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/flush-write-stream
follow-redirects	1.15.6, 1.15.9	MIT	https://www.npmjs.com/package/follow-redirects
for-each	0.3.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/for-each
for-in	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/for-in
form-data	4.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/form-data
fragment-cache	0.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/fragment-cache
from2	2.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/from2
fs-write-stream-atomic	1.0.10	ISC	https://www.npmjs.com/package/fs-write-stream-atomic
fs.realpath	1.0.0	ISC	https://www.npmjs.com/package/fs.realpath
function-bind	1.1.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/function-bind
get-intrinsic	1.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/get-intrinsic
get-proto	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/get-proto
get-value	2.0.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/get-value
glob	7.2.3	ISC	https://www.npmjs.com/package/glob
glob-parent	3.1.0, 5.1.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/glob-parent
gopd	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/gopd
graceful-fs	4.2.11	ISC	https://www.npmjs.com/package/graceful-fs
has-property-descriptors	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/has-property-descriptors
has-symbols	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/has-symbols

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
has-tostringtag	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/has-tostringtag
has-value	0.3.1, 1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/has-value
has-values	0.1.4, 1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/has-values
hash-base	3.0.4, 3.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/hash-base
hash.js	1.1.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/hash.js
hasown	2.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/hasown
hmac-drbg	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/hmac-drbg
html2canvas	1.4.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/html2canvas
https-browserify	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/https-browserify
ieee754	1.2.1	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/ieee754
iferr	0.1.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/iferr
imurmurhash	0.1.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/imurmurhash
infer-owner	1.0.4	ISC	https://www.npmjs.com/package/infer-owner
inflight	1.0.6	ISC	https://www.npmjs.com/package/inflight
inherits	2.0.1, 2.0.3, 2.0.4	ISC	https://www.npmjs.com/package/inherits
is-accessor-descriptor	0.1.6, 1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-accessor-descriptor
is-binary-path	1.0.1, 2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-binary-path
is-buffer	1.1.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-buffer
is-callable	1.2.7	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-callable
is-data-descriptor	0.1.4, 1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-data-descriptor
is-descriptor	0.1.6, 1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-descriptor
is-extendable	0.1.1, 1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-extendable
is-extglob	2.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-extglob
is-glob	3.1.0, 4.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-glob
is-number	3.0.0, 7.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-number
is-plain-object	2.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-plain-object
is-typed-array	1.1.15	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-typed-array
is-windows	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-windows
is-wsl	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/is-wsl
isarray	1.0.0, 2.0.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/isarray
isobject	2.1.0, 3.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/isobject
izitoast	1.4.0	Apache-2.0	https://www.npmjs.com/package/izitoast
js-tree	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/js-tree
json-parse-better-errors	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/json-parse-better-errors
json-schema-traverse	0.4.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/json-schema-traverse
json5	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/json5

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
kind-of	3.2.2, 4.0.0, 5.1.0, 6.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/kind-of
loader-runner	2.4.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/loader-runner
loader-utils	1.4.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/loader-utils
locate-path	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/locate-path
lodash	4.17.21	MIT	https://www.npmjs.com/package/lodash
lru-cache	5.1.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/lru-cache
make-dir	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/make-dir
mamacro	0.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/mamacro
map-cache	0.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/map-cache
map-visit	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/map-visit
marked	14.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/marked
math-intrinsics	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/math-intrinsics
md5.js	1.3.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/md5.js
memory-fs	0.4.1, 0.5.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/memory-fs
micromatch	3.1.10	MIT	https://www.npmjs.com/package/micromatch
miller-rabin	4.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/miller-rabin
mime-db	1.52.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/mime-db
mime-types	2.1.35	MIT	https://www.npmjs.com/package/mime-types
minimalistic-assert	1.0.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/minimalistic-assert
minimalistic-crypto-utils	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/minimalistic-crypto-utils
minimatch	3.1.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/minimatch
minimist	1.2.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/minimist
mississippi	3.0.0	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/mississippi
mixin-deep	1.3.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/mixin-deep
mkdirp	0.5.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/mkdirp
monaco-editor	0.54.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/monaco-editor
move-concurrently	1.0.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/move-concurrently
ms	2.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/ms
nanoid	3.3.11	MIT	https://www.npmjs.com/package/nanoid
nanomatch	1.2.13	MIT	https://www.npmjs.com/package/nanomatch
neo-async	2.6.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/neo-async
node-libs-browser	2.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/node-libs-browser
normalize-path	2.1.1, 3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/normalize-path
object-assign	4.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/object-assign
object-copy	0.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/object-copy
object-inspect	1.13.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/object-inspect
object-visit	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/object-visit
object.pick	1.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/object.pick
once	1.4.0	ISC	https://www.npmjs.com/package/once
os-browserify	0.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/os-browserify
p-limit	2.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/p-limit
p-locate	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/p-locate
p-try	2.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/p-try
pako	1.0.11	(MIT AND Zlib)	https://www.npmjs.com/package/pako

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
parallel-transform	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/parallel-transform
parse-asn1	5.1.7	ISC	https://www.npmjs.com/package/parse-asn1
pascalcase	0.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/pascalcase
path-browserify	0.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/path-browserify
path-dirname	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/path-dirname
path-exists	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/path-exists
path-is-absolute	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/path-is-absolute
pbkdf2	3.1.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/pbkdf2
picocolors	1.1.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/picocolors
picomatch	2.3.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/picomatch
pify	4.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/pify
pkg-dir	3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/pkg-dir
posix-character-classes	0.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/posix-character-classes
possible-typed-array-names	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/possible-typed-array-names
postcss	8.4.38	MIT	https://www.npmjs.com/package/postcss
prettier	1.19.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/prettier
process	0.11.10	MIT	https://www.npmjs.com/package/process
process-nextick-args	2.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/process-nextick-args
promise-inflight	1.0.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/promise-inflight
proxy-from-env	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/proxy-from-env
prrr	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/prrr
public-encrypt	4.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/public-encrypt
pump	2.0.1, 3.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/pump
pumpify	1.5.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/pumpify
punycode	1.3.2, 1.4.1, 2.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/punycode
qs	6.14.0	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/qs
querystring	0.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/querystring
querystring-es3	0.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/querystring-es3
randombytes	2.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/randombytes
randomfill	1.0.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/randomfill
readable-stream	2.3.7, 2.3.8, 3.6.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/readable-stream
readdirp	2.2.1, 3.6.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/readdirp
regenerator-runtime	0.14.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/regenerator-runtime
regex-not	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/regex-not
remove-trailing-separator	1.1.0	ISC	https://www.npmjs.com/package/remove-trailing-separator
repeat-element	1.1.4	MIT	https://www.npmjs.com/package/repeat-element
repeat-string	1.6.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/repeat-string
resize-observer-polyfill	1.5.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/resize-observer-polyfill
resolve-url	0.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/resolve-url
ret	0.1.15	MIT	https://www.npmjs.com/package/ret
rimraf	2.7.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/rimraf
ripemd160	2.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/ripemd160

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
run-queue	1.0.3	ISC	https://www.npmjs.com/package/run-queue
safe-buffer	5.1.2, 5.2.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/safe-buffer
safe-regex	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/safe-regex
schema-utils	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/schema-utils
semver	5.7.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/semver
serialize-javascript	4.0.0	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/serialize-javascript
set-function-length	1.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/set-function-length
set-value	2.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/set-value
setimmediate	1.0.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/setimmediate
sha.js	2.4.12	(MIT AND BSD-3-Clause)	https://www.npmjs.com/package/sha.js
side-channel	1.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/side-channel
side-channel-list	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/side-channel-list
side-channel-map	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/side-channel-map
side-channel-weakmap	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/side-channel-weakmap
snapdragon	0.8.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/snapdragon
snapdragon-node	2.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/snapdragon-node
snapdragon-util	3.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/snapdragon-util
sortablejs	1.10.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/sortablejs
source-list-map	2.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/source-list-map
source-map	0.5.7, 0.6.1	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/source-map
source-map-js	1.2.0	BSD-3-Clause	https://www.npmjs.com/package/source-map-js
source-map-resolve	0.5.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/source-map-resolve
source-map-support	0.5.21	MIT	https://www.npmjs.com/package/source-map-support
source-map-url	0.4.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/source-map-url
split-string	3.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/split-string
ssri	6.0.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/ssri
static-extend	0.1.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/static-extend
stream-browserify	2.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/stream-browserify
stream-each	1.2.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/stream-each
stream-http	2.8.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/stream-http
stream-shift	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/stream-shift
string_decoder	1.1.1, 1.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/string_decoder
tapable	1.1.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/tapable
terser	4.8.1	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/terser
terser-webpack-plugin	1.4.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/terser-webpack-plugin
text-segmentation	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/text-segmentation
through2	2.0.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/through2
timers-browserify	2.0.12	MIT	https://www.npmjs.com/package/timers-browserify
to-arraybuffer	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/to-arraybuffer
to-buffer	1.2.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/to-buffer
to-object-path	0.3.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/to-object-path
to-regex	3.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/to-regex
to-regex-range	2.1.1, 5.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/to-regex-range
tty-browserify	0.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/tty-browserify

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
typed-array-buffer	1.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/typed-array-buffer
typedarray	0.0.6	MIT	https://www.npmjs.com/package/typedarray
union-value	1.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/union-value
unique-filename	1.1.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/unique-filename
unique-slug	2.0.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/unique-slug
unset-value	1.0.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/unset-value
upath	1.2.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/upath
uri-js	4.4.1	BSD-2-Clause	https://www.npmjs.com/package/uri-js
urix	0.1.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/urix
url	0.11.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/url
use	3.1.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/use
util	0.10.3, 0.11.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/util
util-deprecate	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/util-deprecate
utrie	1.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/utrie
vm-browserify	1.1.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/vm-browserify
vue	2.5.17, 2.7.16	MIT	https://www.npmjs.com/package/vue
vue-js-modal	1.3.35	MIT	https://www.npmjs.com/package/vue-js-modal
vue-router	3.6.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/vue-router
vuedraggable	2.24.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/vuedraggable
vuex	3.6.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/vuex
watchpack	1.7.5	MIT	https://www.npmjs.com/package/watchpack
watchpack-chokidar2	2.0.1	MIT	https://www.npmjs.com/package/watchpack-chokidar2
webpack	4.30.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/webpack
webpack-sources	1.4.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/webpack-sources
whatwg-fetch	3.6.20	MIT	https://www.npmjs.com/package/whatwg-fetch
which-typed-array	1.1.19	MIT	https://www.npmjs.com/package/which-typed-array
worker-farm	1.7.0	MIT	https://www.npmjs.com/package/worker-farm
wrappy	1.0.2	ISC	https://www.npmjs.com/package/wrappy
xtend	4.0.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/xtend
y18n	4.0.3	ISC	https://www.npmjs.com/package/y18n
yallist	3.1.1	ISC	https://www.npmjs.com/package/yallist

コンテンツ

2026 Spring(Mimosa) 時点では制限事項はありません。

デザイナー および 実行画面

変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。

変数でマップを使用する場合、値の型は全て同一にしてください。

デザイナー画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。

デザイナー画面で利用できるプロパティの一部に、プレビュー画面およびアプリケーション実行時のみ適用されるものがあるためです。

動画埋め込みエレメントで `autoplay` を `true` に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。

ブラウザによりメディアの自動再生を許可する条件が異なるためです。

マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。

- 「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、`<マップ>`と表示されます。
- 「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、`{ }`と表示されます。

各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「`match-parent`」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。

「`match-parent`」プロパティに関するブラウザの仕様は草案段階であり、ブラウザによって実装状況・挙動が異なります。
各ブラウザの対応状況は「[MDN web docs](#)」を参照ください。

CSSエディタの編集内容によりデザイナーの見た目が壊れる可能性があります。

例として以下のようなCSSを設定した場合、デザイナーの見た目が壊れることを確認しています。

```
html {  
  font-size: 100px;  
}
```

```
a:visited, a:link { color: #000 }
```

整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。

小数を入力した結果バリデーションエラーが発生しても、画面上では四捨五入、または切り捨てで丸め処理された値が適用されます。

マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。

アクションを使用してマップ型の変数に代入した値をマップ型以外の変数に再代入することはできません。

互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。

互換テーマを利用した場合、画面幅が変わる事によりレイアウトが崩れて表示される場合があります。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
そのため、カスタムスクリプト内でDOMを操作することはできません。

リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。

使用しているライブラリ (Squire) の不具合により、ブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
なお、動作に影響はありません。

IM-Repository定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約があります。

IM-Repository の下記制約が対象です。

- 数値（最小整数桁、最大整数桁、最小小数桁、最大小数桁）
- 日付時刻
- 独自に追加した制約

ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。

ファイルアップロードエレメントを使用した画面で、100MB を超えるファイルを選択すると、ブラウザにエラーページが表示され、それ以降の処理が続行できなくなることがあります。

この事象が発生する条件となるファイルサイズは、使用するブラウザや、クライアントのマシンスペックによって異なります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。

コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。

カスタムスクリプト内で `$im.event.mouse` を利用して取得できる値について、制限があります。

Mac を利用している場合は、以下の値は常に `false` です。

これは、Mac OS がどのマウスボタンが押されているかを判別する機能を有していないためです。

- `$im.mouse.leftButton`
- `$im.mouse.rightButton`
- `$im.mouse.wheelButton`
- `$im.mouse.extraButton1`
- `$im.mouse.extraButton2`
- `$im.mouse.isExtraButton()`

また、iPhone、Android、iPad を利用している場合、上記の API はサポート対象外です。

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

バインド対象のテーブルは、バインドする配列変数の長さによってテーブルの行数が動的に変化します。

このとき、行の挿入または削除が行われており、バインド対象のテーブルの左右に存在するテーブル情報が壊れてしまいます。

シートにテーブルを複数配置したい場合は、同一行にテーブルが複数存在しないようにしてください。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

Android の Chrome には PDF を表示するビューアが搭載されていないためです。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

カメラを有効にした際には、権限を求められることがあります。許可することで利用可能です。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

「変数〇に一覧データ〇から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

「変数〇に一覧データ〇から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

サイドメニューコンテナエレメントのメニューの検索状態はコンテナページを移動してもクリアされません。

サイドメニューコンテナエレメントで表示しているメニュー検索のテキストボックスに

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2026 Spring リリースノート 初版 2026-04-01

グローバルナビのメニューフォルダ、メニューアイテムの名称に一致する文字を入力すると検索結果として該当するメニューフォルダ、メニューアイテムの一覧を表示します。

intra-mart Accel Platform の Slim Side Menu テーマ の場合、検索結果を表示した状態で画面の更新やメニューアイテムへ遷移するとメニュー検索のテキストボックスは空になり検索結果がクリアされます。

IM-BloomMaker for Accel Platform の サイドメニューコンテナエレメント の場合、Slim Side Menu テーマ と同様に画面の更新やメニューアイテムへ遷移でメニューの検索状態がクリアされます。

しかし、コンテナページごとにメニュー検索のテキストボックスに入力した文字、検索結果の一覧が表示された状態を保持します。

コンテナページごとに検索状態を保持するため、例えばメニューを検索した状態で別のコンテナページに移動した場合は移動先のサイドメニューコンテナエレメントには移動元のコンテナページでの検索状態は反映されませんが移動元のコンテナページに戻ると、検索状態はクリアされず保持されます。

サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。

サイドメニューエレメントのユーティリティメニューはテーマが提供するユーティリティメニューと同一ではありません。

複数の組織に所属するユーザの場合、サイドメニューエレメントのユーティリティメニューに組織切り替えのメニューが表示されません。これ以外にもユーティリティメニューにお客様が追加したユーティリティプラグインは、サイドメニューエレメントのユーティリティメニューに表示されません。

排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。

排他制御エレメントを同一コンテナページ内に複数配置することはできません。

コンテナページ毎に一つだけ配置するようにしてください。

デザイナーでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。

デザイナーでの見た目とプレビュー、アプリケーション画面での見た目との間に差が出る場合があります。

- 外部リソース埋め込みコンテナ
 - 縦幅に 100% を指定しても、プレビューやアプリケーション画面では 100% として表示されません。
 - 外部リソース埋め込みの親の要素である外部リソース埋め込みコンテナの縦幅に 100vh を指定することで画面の高さ全体に表示できます。

ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。

ワークブックエディタで開きながら、プレビュー、アプリケーション画面上のスプレッドシートが操作できてしまいます。

ワークブックエディタを開いたときにプレビュー、アプリケーション画面はインジケータが表示されたままですが、ワークブックエディタを開いた状態でプレビュー、アプリケーション画面をアクティブにし Tab キー押下によりセルの操作ができてしまいます。

複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。

複数選択パブリックグループ検索アクションアイテムでダイアログを再表示すると、選択済みのパブリックグループ名が変わります。

「複数選択パブリックグループ検索ダイアログを表示する」アクションアイテムを配置し、「パブリックグループ名」に変数値を指定します。このとき、ダイアログの初回表示時に選択したパブリックグループ名は、トップ階層からのフルパスが表示されますが、2回目以降の表示では末端のパブリックグループ名のみ表示されます。

iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で日付入力を表示したとき、min, max の指定が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で、音声または動画を再生・一時停止するアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、一部しか動かない場合があります。

iOS・iPadOS の Safari を利用しているとき、以下のアクションアイテムを1つのアクションに対して複数設定した場合、1つのコンテンツ（音声・動画）しか再生されない場合があります。

- 音声または動画を再生する
- 音声または動画を再生・一時停止する

WebSocket の接続に失敗した場合、デザイナー画面に表示されている排他制御機能が期待通りに動作しません。

稀に WebSocket の接続に失敗し、コンソールにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージは connection to '接続先のURL' failed: です。'接続先のURL'は利用している環境に依存します。接続に失敗した場合、排他制御機能のUIが期待通りに動作しません。画面を更新し再接続してください。

辞書項目の JavaScript 変数名が未入力またはハイフン、アンダーバー以外の記号を利用していた場合、エンティティデータの検証が動作しません。

以下の条件のいずれかに合致する場合、IM-LogicDesigner で利用できるタスク「エンティティデータの検証」および「フロー開始時に IM-Repository 定義の入力値を検証する」が動作しません。

- IM-BloomMaker の変数名に利用できるハイフン、アンダーバー以外の記号を IM-Repository の辞書項目の JavaScript 変数名で利用した場合
- IM-Repository の辞書項目の JavaScript 変数名が未入力の場合

iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」が動作しません。

iOS・iPadOS の Safari で、コンテナの「ページ遷移時警告」をオンに設定した画面を表示後、別のページに遷移しても、ページ遷移時警告が動作しません。

iOS・iPadOS で、時刻入力エレメントの「showSeconds プロパティ」が動作しません。

iOS の Safari、iPadOS の Safari で、時刻入力エレメントのプロパティ「showSeconds」を有効に設定しても、秒数が表示されません。

iOS・iPadOS で、時刻入力エレメント・日付入力エレメントの「readonly プロパティ」が動作しません。

時刻入力エレメント、日付入力エレメントのプロパティ「readonly」を有効にしても、入力不可が適用されません。

- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
- 該当するエレメント
 - 日付入力
 - 日付入力 (Bulma)
 - 時刻入力
 - 時刻入力 (Bulma)

数値入力エレメント、数値入力（フォーマット）エレメントで、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。

数値入力エレメント、数値入力（フォーマット）エレメントで、入力したデータをいくつずつ変化させるのか、を指定するプロパティ「step」が動作しません。

- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
 - AndroidOS: Chrome
- 該当するエレメント
 - 数値入力
 - 数値入力 (Bulma)
 - 数値入力 (フォーマット)
 - 数値入力 (フォーマット) (Bulma)

モバイル端末で、入力系エレメントの「min プロパティ」「max プロパティ」が動作しません。

以下の操作を行うと、min プロパティ、max プロパティの設定に関係なく、値を入力できてしまいます。

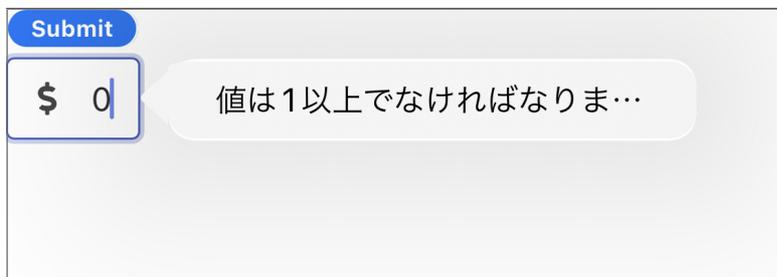
- 入力系のエレメントに、最小値を指定する min プロパティ・最大値を指定する max プロパティ に任意の値を設定する
- モバイル端末からアプリケーション画面にアクセスする
- 入力系エレメントに min プロパティより小さい値、または、max プロパティより大きい値を入力する
=> 入力できないはずの値を入力できてしまいます。

なお、フォームの submit を行うと、エラーメッセージが表示されます。

- フォーム部品カテゴリの「フォームエレメント」内に、min プロパティ・max プロパティを設定した、入力系エレメントを配置する



- モバイル端末からアプリケーション画面にアクセスする
- 入力系エレメントに min プロパティより小さい値、または、max プロパティより大きい値を入力する
- 「Submit」ボタンをタップする
=> 入力値が min プロパティ、または、max プロパティの条件を満たしていない旨のエラーメッセージが表示されます。



- 該当するブラウザ
 - iOS: Safari
 - iPadOS: Safari
 - AndroidOS: Chrome
- 該当するエレメント
 - 数値入力
 - 数値入力 (Bulma)
 - 数値入力 (フォーマット)
 - 数値入力 (フォーマット) (Bulma)
 - 日付入力
 - 日付入力 (Bulma)
 - 時刻入力
 - 時刻入力 (Bulma)

iOS・iPadOS でダイアログを表示した際、ダイアログ内のどのエレメントにも autofocus があたりません。

HTML Living Standard では、dialog 要素を利用すると、dialog 内に配置された要素の autofocus 属性を調べます。autofocus が指定された属性を持つ要素の内、一番最初の要素にフォーカスがあたります。一方、autofocus が指定された属性を持つ要素がなかった場合、一番上に配置されている要素にフォーカスがあたります。

iOS・iPadOS では上記のような処理がなされず、autofocus が指定された属性を持つ要素がなかった場合、どの要素にもフォーカスがあたりません。

エレメント「排他制御」のプロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、通信状況や端末の仕様によってはページを離れてもロックが解除されません。

プロパティ「unlockOnLeave」が有効の場合、ロックを取得しているユーザが現在のページから他のページへ遷移すると通常はロックが解除されます。しかし、ロックを取得したユーザが使用している端末の仕様、動作状況、通信状況によっては、ロックが解除されません。プロパティ「unlockOnLeave」を利用する場合は、作成したコンテンツで排他制御エレメントの検証をしてからお使いください。

ロックが解除されない場合は、次のいずれかの方法でロックを解除してください。

- 再度同じページにアクセスしてロックを解除する。
- プロパティ「useForceUnlock」を有効にして別ユーザでロックを解除する。
- サーバ側でロックを解除する。(後述)

2023 Spring(Gerbera) 現在、この事象は次の環境では必ず発生することを確認しています。

- iPad
- iPhone

また、この事象は上記以外のブラウザでも発生する可能性があります。

サーバ側でロックを解除する場合は、以下の2つの方法があります。

1. SharedResource API を使用する

- SharedResource#unlockAndNotify を呼び出す JSSP を作成し、画面にアクセスするかジョブを実行します。
- BloomMaker の排他制御エレメントで指定した applicationId, businessKey と同じものを指定すると、ロック解除できます。

```
let applicationId = 'test';
let businessKey = {key1: '1', key2: '2'};
let sharedResource = new SharedResource(applicationId, businessKey);
sharedResource.unlockAndNotify();
```

2. システム管理者画面からアプリケーションロックを解除する

- システム管理者画面にログインし、「システム管理」⇒「アプリケーションロック一覧」画面を開きます。
- 「ロックID」の“@” から “:” までの間が applicationId と一致するものを、ロック解除します。
 - 一致するものが複数存在する場合は、管理者画面からは特定できません。お手数ですが API を使用してください。

Tabindex プロパティは、モバイル端末で機能しない場合があります。

Tabindex プロパティは、モバイル端末で機能しない場合があります。

IM-Repository 定義のエントリをインポートした変数は2次元以上の配列に対応していません。

サイドバーエレメントは Slim Side Menu テーマのサイドバーに存在する機能のすべてを提供していません。

サイドバーエレメントは Slim Side Menu テーマのサイドバーに存在する機能のすべてを提供していません。

サイドメニューコンテナエレメントの中のサイドバーエレメントは、Slim Side Menu テーマのサイドバーに存在する以下の機能を提供していません。

- 文字サイズ変更
- ヘルプドロップダウン

エレメント「日付入力」のカレンダー部分は OS のタイムゾーンに従って動作します。

アカウントやテナントのタイムゾーンと、OS のタイムゾーンが異なる場合、OS のタイムゾーンに従って動作します。

例えば OS のタイムゾーンとして、東京 (Asia/Tokyo GMT+09:00) が指定されていて、現在時刻が 2023-10-11T12:00:00+0900 とします。

アカウントの個人設定で、タイムゾーンとしてアメリカ領サモア (Pacific/Samoa GMT-11:00) を選択した場合、カレンダーの「今日」の部分をクリックすると、10月11日が選択されます。

アカウントのタイムゾーンに指定したアメリカ領サモアの日付である 10月10日は選択されません。

リッチテーブルのプロパティ「displayValidationError」を有効にしても、プロパティ「dataSource」に式表現を指定するとバリデーションエラーが表示されません。

リッチテーブルのプロパティ「displayValidationError」を有効にしても、プロパティ「dataSource」に式表現を指定すると動作しません。

変数 `$variable.dataSource` にリッチテーブルに表示するデータを格納しているとします。

リッチテーブルのプロパティ「dataSource」に、以下の2つのいずれかの方法で変数を指定することが可能です。

1. `$variable.dataSource`
2. `=($variable.dataSource)`

どちらの方法でもデータは表示されます。

しかし、2つめの方法では、リッチテーブルのプロパティ「displayValidationError」を有効にしてもバリデーションエラーが表示されません。

JavascriptのNumber型で整数として精度が保証されている桁数を超えている場合、正常に動作しない場合があります。

整数として精度が保証されるのは、-9,007,199,254,740,991 ~ 9,007,199,254,740,991 までです。

その範囲外では演算結果に誤差が生じる等、正常に動作しない場合があります。

キー押下時プロパティで実行されるアクションは、キーの既存の機能を打ち消しません。

キー押下時プロパティで実行されるアクションは、キーの既存の機能を打ち消しません。例えば、コントロールキー + Fキーを押したときにアクションを実行する場合、アクションが実行されることに加え、検索も実行されます。

アシスタント実行エレメントを1コンテンツ定義内に複数配置することはできません。

アシスタント実行エレメントを1コンテンツ定義内に複数配置することはできません。1コンテンツ定義内に1つだけ配置するようにしてください。

CSSエディタで指定したスタイルが、バージョンアップによって動作しなくなることがあります。

CSSのセレクトには、タグ名・クラス名・属性名等によって、それぞれ優先順位（重みづけ）があります。

<https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS/Specificity>

IM-BloomMaker が標準で提供している CSS と、CSS エディタによって指定されたものは、マージされて適用されます。しかし、上記の優先順位によって、CSS エディタよりも標準提供の CSS が優先されてしまう場合があります。この動作によって、バージョンアップを行った際に、CSS エディタで指定したスタイルが外れてしまうことがあります。

これはブラウザの仕様であり、変更することはできません。強制的にスタイルを適用する場合は、優先順位を上げるようセレクトに指定する階層を多くする、`!important` を付与する、等の工夫が必要です。可能であれば、CSS ではなく、エレメントのプロパティでスタイルを指定してください。

入力系エレメントの value に変数値を指定し、同一エレメントの他プロパティに同一変数を指定した場合、反映されません。

入力系エレメントの value に変数値を指定し、同一エレメントの他プロパティに同一変数を指定した場合、反映されません。

例えば、「テキスト入力」エレメントの value プロパティに `$variable.foo` を指定し、かつ同一エレメントの「ツールチップ」プロパティに `$variable.foo` を指定します。この場合、アプリケーション画面において、テキスト入力の内容を変更しても、同一変数を使用しているツールチップには、変更が反映されません。エレメントが異なる場合は、正しく `$variable.foo` の変更が反映されます。

プロパティ「addon」を有効にした「フィールド」エレメントを配置した Bulma のコンテンツを imds に変換すると異なる見た目に変換されます。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2026 Spring リリースノート 初版 2026-04-01

以下のような配置・設定をすると、エレメント間が隙間なく表示され、結合しているように見えます。

- コンテンツ種別「Bulma」「Bulma Theme Colored」を利用する
- コンテンツにエレメント「フィールド」を配置、「フィールド」の配下にフォーム（Bulma）カテゴリのエレメントを複数配置
 - 例：テキスト入力とボタンを組み合わせる
- 「フィールド」のプロパティ「addon」が有効である

このようなコンテンツをコンテンツ種別「imds」に変換した場合、上述したような隙間なく結合したように表示されません。コンテンツ種別「Bulma」の「フィールド」は、コンテンツ種別「imds」の「フィールドグループ」に変換されるためです。

変換前と同等の見た目を実現したい場合は、「フィールドグループ」ではなく「インプットグループ」エレメントを利用し、プロパティ「addon」を設定してください。

unlockOnLeave を有効にした排他制御エレメントを非表示状態にしてページ遷移すると、ロックが解除されないことがあります。

unlockOnLeave を有効にした排他制御エレメントを非表示状態にしてページ遷移すると、ロックが解除されないことがあります。

排他制御エレメントが非表示状態の場合、排他制御に関する処理がアンロードされています。ページ遷移が行われたとき、すでにアンロードされている場合は、ロック解除のためにロードしなおす必要があります。しかし、ロードが完了する前にページ遷移が完了するため、ロック解除処理が間に合わないことがあります。

デベロップモードで編集したコンテンツ定義をレイアウトモードで表示した場合、一部の編集機能が制限されることがあります。

デベロップモードで編集したコンテンツ定義をレイアウトモードで表示した場合、一部の編集機能が制限されることがあります。

2次元以上の配列をリクエストパラメータとして送信できません。

2次元以上の配列をリクエストパラメータとして送信できません。

以下のようなアクションにおいて、リクエストパラメータに2次元以上の配列が含まれる場合、受信側は正常に受け取ることが保証されません。

- URL〇にリクエストを送信する
- URL〇に遷移する
- IM-LogicDesigner フロールーティング〇にリクエストを送信する
- ViewCreator ルーティング〇にリクエストを送信する

Accel Platform Mobile では、アクション「URL〇をウインドウで開く」で別画面を開くことはできません。

Accel Platform Mobile では、アクション「URL〇をウインドウで開く」で別画面を開くことはできません。

アクション「エレメント〇にフォーカスを設定する」において、フォーカスインやフォーカスアウトのタイミングで、複数のエレメントが互いに向けてフォーカスを移動させる設定をしている場合、ブラウザが停止することがあります。

アクション「エレメント〇にフォーカスを設定する」を利用してふたつの「テキスト入力」エレメントに、フォーカスインまたはフォーカスアウトのタイミングで互いに向けてフォーカスが移動するよう指定したと仮定します。

この場合、フォーカスがふたつの「テキスト入力」エレメントを移動し続け、ブラウザが停止することがあります。

デフォルトで設定されている3言語（日本語・英語・中国語（簡体字））以外のシステムロケールを追加した環境では、英語のみをサポートします。

デフォルトで設定されている3言語（日本語・英語・中国語（簡体字））以外のシステムロケールを追加した環境では、英語のみをサポートします。現時点では、標準部品において、上記3言語の他に多言語メッセージを追加することはできません。

「表示/非表示」プロパティの指定場所によって、リッチテーブルの selected プロパティの値が上書きされます。

「表示/非表示」プロパティの指定場所によって、リッチテーブルの selected プロパティの値が上書きされます。

リッチテーブルの表示状態が変わったとき、selected プロパティの値が上書きされないパターンと、上書きされるパターンがあります。

条件1：

- ボックスを配置し、中にリッチテーブルを配置する
- ボックスの「表示/非表示」プロパティに変数を指定する（以下、変数A）

条件2：

- リッチテーブルを単品で配置する
- リッチテーブルの「表示/非表示」プロパティに変数を指定する（以下、変数A）

共通の条件：

- リッチテーブルの「dataSource」プロパティに変数を指定し、1件以上の表示用データを用意する（以下、変数B）
- リッチテーブルの「selected」プロパティに変数を指定する（以下、変数C）

- リッチテーブルの「selectionType」プロパティで「single」または「multiple」を選択する
- 変数Aに false、変数Bを他の値に変更するアクションを作成する（以下、アクションD）

操作手順：

- 実行画面を開き、リッチテーブル上で、任意の行を選択する
- アクションDを実行する

結果：

- 条件1の場合⇒「selected」プロパティに指定した変数が初期化されます。
- 条件2の場合⇒「selected」プロパティに指定した変数は初期化されず、維持されます。

アプリケーション画面で横スクロールが発生している場合、Android の Chrome では日付入力（カレンダー）エレメントの日付ピッカーが適切な位置に表示されない場合があります。

アプリケーション画面で横スクロールが発生している場合、Android の Chrome では日付入力（カレンダー）エレメントの日付ピッカーが適切な位置に表示されない場合があります。

Safari では暗黙的な Submit を動作させないオプションを利用できません。

Safari では、bloommaker-designer-config の implicitSubmit パラメータを false にしても、暗黙的な submit の動作を抑制できません。

変数のキー名を数字のみにした場合、変数ツリーの並びと実際の変数値の並びが一致しないことがあります。

変数ツリーで以下のような変数を作成します。

```
$variable <マップ>
└─ map <マップ>
  └─ 1 <文字列> ... 変数値 : B
  └─ 0 <文字列> ... 変数値 : A
```

変数「\$variable.map」の変数値を取り出した場合、以下のような値が取得されます。

```
{
  "0": "A",
  "1": "B"
}
```

このように、変数ツリー上では 1 -> 0 の順序ですが、実際に取得される変数値は 0 -> 1 のように、数字の昇順で並び替えが行われます。これは JavaScript の仕様によるもので、オブジェクト化したときのキーが数字のみで構成される場合、配列の添え字のような動作になるためです。例えば、以下のようなコードを実行した場合、キーの順序が変わって出力されます。

```
JSON.stringify(JSON.parse('{ "1": "A", "0": "B" }'))
// => '{"0": "B", "1": "A"}
```

レイアウトモードでタブの選択状態を切り替えたとき、選択状態を解除したあとに UNDO/REDO に操作履歴が記録されます。

レイアウトモードでタブの選択状態を切り替えたとき、選択状態を解除したあとに UNDO/REDO に操作履歴が記録されます。

例えば、以下の操作を行います。

1. タブを配置する
2. タブ切り替え以外の任意の操作を行い、「元に戻す」を有効にする
3. 「元に戻す」を実行する
4. タブを選択して、タブを切り替える
5. タブの選択状態を解除する

操作 5 で UNDO/REDO の操作履歴が記録されるため、「やり直し」で操作 2 を復元できません。

ルーティング

2026 Spring(Mimosa) 時点では制限事項はありません。

テンプレート

2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。

- 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合は、デザイナー画面上のUploadを実行してください。

エレメントセット

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを使用した場合、テーマが適用されないことがあります。

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを、コンテンツ、または、テンプレートに配置した場合、タグ構造が通常と異なるため、コンテンツ種別で選択したテーマが適用されないことがあります。
配置後のエレメントセットから該当エレメントをドラッグ操作でコンテナページ直下に配置しなおすことで、テーマが適用されます。

エレメントセットを「参照」で利用している場合、エレメントセット側で削除した変数は利用しているコンテンツに反映されません。

エレメントセットを「参照」で利用している場合、エレメントセット側で削除した変数は利用しているコンテンツに反映されません。

例えば「リッチテーブル」エレメントの場合、以下のような変数をエレメントセットで定義している場合、「headerRowString」の配下にある変数「userCd」「name」「department」を削除してもコンテンツには反映されず、リッチテーブルに「ユーザコード」「ユーザ名」「所属組織」の列が表示されます。

```
{
  "headerRowString": {
    "userCd": "ユーザコード",
    "name": "ユーザ名",
    "department": "所属組織"
  },
  "dataSource": [
    {
      "userCd": "aoyagi",
      "name": "青柳 辰巳",
      "department": "サンプル課 1 1"
    },
    {
      "userCd": "ueda",
      "name": "上田 辰男",
      "department": "サンプル課 2 2"
    }
  ]
}
```

エレメントセットで削除した変数をコンテンツからも削除したい場合は、コンテンツから対象の変数を削除してください。

インポート・エクスポート

IM-BloomMaker for Accel Platform のエクスポート資材には前方互換性がありません。

古いバージョンでエクスポートした資材を新しいバージョンにインポートすることは可能です。
しかし、新しいバージョンでエクスポートした資材を古いバージョンにインポートすることはできません。

WebSphere Application Server を利用する場合、テナント環境セットアップ後やインポート実行後にサーバを再起動する必要があります。

WebSphere Application Server を利用している場合、テナント環境セットアップ時に IM-BloomMaker のルーティング定義情報を WebSphere Application Server に登録しません。
ルーティング定義情報を登録しないため、IM-BloomMaker のルーティング定義一覧にある URL にアクセスしても 404 エラーページに遷移します。
テナント環境セットアップ後 WebSphere Application Server を再起動してください。
再起動することで、ルーティング定義情報が登録され、ルーティング定義一覧の URL にアクセスできます。

また、IM-BloomMaker のインポート画面で資材をインポートした後も再起動が必要です。

IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。

IM-Repository の辞書項目への参照があるコンテンツをインポートする際に、その辞書項目の存在確認を行っていません。

IM-BloomMaker の資材をインポートする前に、登録やインポートを実施するなどして、参照している辞書項目の情報をあらかじめ準備してください。

デバッグツール

Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションはブレークポイントで一時停止しません。

Chrome 拡張機能のデバッグツールで「ページ読み込み時」に設定されたアクションにブレークポイントを設定後、アクションを実行してもブレークポイントで一時停止しません。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、または当社ホームページ（http://www.intramart.jp/document/library/?product=im_bloommaker）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみ

当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上